

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	多機能型事業所ホープみさかえ		公表日	令和 7年 2月 28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容や利用人数により利用場所を変えています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			・利用状況によっては十分ではないが、他部署からの応援配置をします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・設備は十分ではないが、特性に合わせた遊具利用をこころがけています。	・バリアフリー化はできているが、置物等危険状態になっていないか、常に気を配ること。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・整理・整頓・清潔に気を配り、清掃・消毒を徹底しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・こどもの状況に応じて場所移動もします。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			・目標設定はしているものの、振り返りの時間が十分でない。記録を取るなかで反省点については情報共有を図るようにします。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価表に限らず、送迎時等保護者との会話の中から情報収集を心がけています。	・得た情報は共有化を図り、マイナス面は改善に努力する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・会議だけではなく、アンケートによる意見収集もしています。	・目標に向かっての個々のスキルアップを図ること。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者評価とまでは言えないが、見学者等の感想・意見を聞くこととしています。	・得た情報は共有化を図り、改善への足掛かりにしています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○			・できるだけ受講の機会を増やすため、短時間受講の複数回受講で一課題を完結するようなパソコンツールの利用も考えたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			・ホームページ上に掲載することとしています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・こどもの特性や保護者の意向をしっかり把握して、作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・事前に他の職員とも意見交換して作成に臨んでいます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・共有し、都度意見交換も心掛けています。	・見直し時期においても、保護者の意向や他職員の意見も反映します。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			・アセスメントツールの利用は十分ではないことから、種類・効果等の検討も必要。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・子どもの特性や保護者の意向、他職員の意見等も踏まえ、十分な検討の上設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・立案に対しての意見交換をしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・ネット情報なども取り入れ、アイデアを出し合い、新しい活動を取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・こどもの状況に応じて、個別・集団活動を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・打ち合わせの時間が十分に取れないため、紙ベースでの確認を行っています。	・できるだけ口頭での確認も心掛けること。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・終了後の時間は十分に取れないが、合間合間で共有化を図っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			・記録の徹底はもちろんのこと、検証・改善につなげていきたい。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・子どもの成長状況や保護者の意向の聞き取り、職員の意見交換により見直しをしています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者自らが出席をして、情報収集に努めています。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・障害福祉、保育、教育機関との連携はあるものの、保険・医療との連携が不十分。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			・インクルージョン思想が一般化されていない現状であり、連携も充分ではない。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			・保護者との移行相談はできているものの、学校との共有・理解は充分ではない。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。		○			・部外講師の力を借りたり、施設また他施設での好事例等を発表してもらったり、地域全体の向上に資するよう努力します。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○			・上記を達成するためにも、外部研修の受講や自己研鑽により全体のスキルアップを図りたい。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・市、教育委員会主催の会議等に参加しています。		
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	—	—			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。		○			・コロナ禍以降、取り組めていません。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・ラインの活用により、成果が上がっています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			・家族相談は受けて対応しているものの、ペアレント・トレーニングとはなっていない。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・事前に子どもの状況把握や保護者の聞き取りを十分に行っています。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・説明と同意を得ています。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・対応しています。	・懇切、丁寧な対応を心がけること。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・父母の会の必要性を感じておられないようであるが、行事等を通じて交流が図れるようにしたい。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・充分留意しているとともに、場合によっては2重チェックをします。		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・コロナ禍以来取り組めていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		・マニュアルはあるが、見直しをして現状に即したものを作成して、改めて周知することとします。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・作成して火災、自然災害を想定して避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・確認して薬を預かることもあります。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・しっかりと確認している。現在はアレルギー対象児はいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・定期的に安全点検を実施し、万全を期しています。	・安全に関する指針やマニュアル等、全般を見直しをします。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		・上記の見直し作成したものを配布し、周知します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・検討するとともに共有化を図っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年2回の部内研修を行うとともに、外部研修の受講や日常に注意喚起を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・必要に応じて都度対応しています。	・都度、身体拘束適正化委員会を開催し、対応しています。